

Weekly Bulletin 2016-2017



RI会長
ジョンF.ジャーム



人類に
奉仕する
ロータリー

静岡東ロータリークラブ

会長/大村幸代 幹事/細川俊彦

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
大村幸代

第 2791 回例会

平成 28 年 12 月 8 日 天候 晴

- 《司 会》 細川 俊彦 君
- 《合 唱》 「我等の生業」
- 《BGM》 フルート協奏曲 k299、k313、k314
- 《ゲスト》 株式会社静岡銀行 企業サポート部
部長 有海 隆之様
- 《ビジター》 小高 新吾 君(静岡RC)
増田 正之 君(富士山吉原RC)

《本日のお祝い》

お誕生日	結婚記念日
該当者なし	12月11日 伊藤洋一郎君

《会長挨拶要旨》 「歌うということ」

大村 幸代 会長



4日の日曜日に大阪城ホールでベートーベンの「第九」を歌ってきました。杉田さんと新聞さんと三人で「一万人の第九」というその題名とおり1万人の人が集まって第九を歌うというコンサートにここ何年か続いて参加しています。大阪城ホールのアリーナにオーケストラが入り、それを取り

囲む観客席に合唱する人たちがすわります。本当の観客は100人から200人くらいで、観客席にいるほとんどの人は歌うためにそこにすわっているというとても不思議な光景です。

音の進む速さと、光の進む速さは全く違います。当然ですが、顔が見えないほどの距離にいる人が発した声が自分のところに届くにはかなりの時間がかかります。オーケストラの音も同じで、聞きながら歌うとかなりずれます。それを一万人でやるのでうっかりすると、とんでもないことになります。そこをまとめるのが真ん中にある指揮者で佐渡裕さんという日本を代表するマエストロが棒を振ります。

さてこの「声を合わせて歌う」という行為について民族音楽学者の小泉文夫さんが極北で暮らすイヌイッ

トたちの歌について、大変興味深い話を書いておられます。「一緒に声を合わせて歌えない部族」と「みんなで声を合わせて歌える部族」がいるのだそうです。

まずカリブーというトナカイの狩をして生きているイヌイットのグループは、拍子をとって合わせる事ができないそうです。一方クジラを食べて生きているイヌイットはリズム感がよく、二人はもちろん十数人でもピタッと合うのだそうです。

小泉さんはこの違いについてカリブー狩は一人でもできますがクジラ漁はそうはいかないと説明し「クジラが息を吸うために氷の割れ目に現れた瞬間に、お互いに合図を送って一斉に攻撃する。つまりタイミングを合わせる事が自分たちが生きるために絶対必要だから、クジラがいないときにはただ遊んでいるのではなく、その運命共同体の人々は声を合わせリズムを合わせる練習をする。その練習が歌うことだ」と書いています。(小泉文雄著作選「人はなぜ歌をうたうか」)歌の原点には、人間が生きていくという本能的な生存に関係があったのではないかというのです。

私たちが例会のはじめに歌を歌うことも、心をあわせるために大切なことかもしれません。

《ロータリーの友 11月・12月号紹介》

広報・雑誌グループ 河野 雅一 君

ロータリーの友 11月・12月号より、俳句・短歌・川柳それぞれ2種類ずつご披露いただきました。

《来賓 卓話》

株式会社静岡銀行 企業サポート部 部長 有海 隆之 様
『地方銀行から見た静岡市の実体経済』



類に...
ロータ

地域経済を考えるにあたっては、「地方創生」という言葉がキーワードになるかと思えます。政府は地方創生において、各地域が「まち・ひと・しごとの好循環」の創出を通じた自律的で持続的な社会の創造に取り組むとしており、各地方公共団体はこれまでに策定した戦略に基づ

きそれぞれの計画を実行に移していく段階に入っています。

そうした中、当行では地域と運命共同体である地域金融機関として地方創生に積極的に関与し、より機動的な対応を図るため、平成27年6月に「地方創生部」を設置し、県内35市町の全てと地方創生に関する連携協定を結ぶなど、地域金融機関の立場から地方創生を推進しております。

私どもとしては、地方創生における最大のキーポイントは「しごとの創出」であり、その意味で地域の産業界が担う役割は大きいと考えております。

静岡市経済について、市内総生産額の内訳から見てみると、多様な産業によりバランスよく構成されている中で、サービス業と製造業が大きなウェイトを占めているのが特徴です。

一方で静岡市経済が抱える課題は人口減少でありこれが地域経済にもたらすマイナスの影響は非常に大きいことから、人口減少の防止は官民が一体となって取り組むべき重要な課題であると言えます。

静岡経済研究所の調査によると、静岡県の特徴的な県民性は「気性が穏和でのんびりしており、慣例に従う」であるとされています。なお、中部・西部・東部の県内3地域の中でも中部地域の住民が、この特徴を最も表しているという調査結果になっています。

静岡市が東西の経済圏・文化圏双方の価値観を理解しつつも、どちらにも取り込まれず独立した存在感を発揮していくことは、静岡市経済の活性化や発展にとって重要であり、ここにおいて、静岡人の穏和でのんびりした気質は有用と言えるのではないのでしょうか。

1人ひとりの静岡人が持てる行動力や積極性を今一歩発揮することが、地域の飛躍的な発展につながる原動力となる可能性は充分にあると思います。

政府が目指す「まち・ひと・しごとの好循環」の実現において、最大のキーポイントは「しごとの創出」であるというのが私どもの認識です。地域に雇用を生み出すことで「ひと」を呼び込み、人口減少に歯止めをかけることが、静岡市経済の将来を考える上での最重要課題であると言えます。

この点に関し、創業・第二創業が「しごとの創出」において重要な役割を担うと考えます。創業・第二創業は新市場の創出につながるものであり、その意味においても、地方創生の重要なテーマであると言えます。

付加価値の高い、魅力ある仕事を生み出し、若者世代を中心とした「ひと」を呼び込むことが重要な課題であり、呼び込んだ「ひと」を定着させることが、もう1つの重要な課題であると言えます。

地方創生において、地域金融機関には、地域のお取引先や行政との永年のリレーションを通じて得た情報とネットワークを活かしコーディネーターの役割を担うことが期待されており、当行も、新設した「地方創生部」を中心に、「地方創生全体会議」や「しずぎん起業家大賞」の開催など様々な施策に取り組んでいます。

政府は地方創生について、地域の「産学官金労言」が一体となってこれを推進していくものとしていますが、私どもとしては、これこそが、最も重要な点であると考えています。今後も地域の産業界の皆さまと活発にコミュニケーションをとり、成果に結び付けていきたいと考えておりますので、どうぞ引き続きよろしくごお願い申し上げます。

《スマイル報告》

神野 一成 君

過日静岡銀行の中村副頭取にお会いする機会があり、銀行から見た静岡について何方かに卓話をお願いしたいと依頼しましたところ、企業サポート部の有海部長が快くご承諾をいただき誠にありがとうございました。本来であれば依頼者の私が率先して卓話を聞かねばならぬところ、急遽韓国に出張することとなり、大変心苦しく思っております。失礼の段お許しください。

有海部長本日は誠にありがとうございました。

杉田 至弘 君

記念日のお花を頂いたのを期に新婚旅行地沖縄を訪ねました。

通算5回目20年振りでしたが沖縄の変貌は予想をはるかに超えていました。次の日那覇ロータリークラブの例会に出席。半数が「かりゆし姿」、半数がスーツでした。まず①深呼吸②体操③全ての会員と握手、和んだところで④開会の点鐘⑤ビジターの紹介と歓迎の歌⑥会長挨拶⑦幹事報告⑧卓話(二胡の演奏を含め3人)等多くの人の発言、参加を促す工夫が見られた。期待した沖縄料理は出ず、普通の洋食(ビジター費2000円)だった。隣は琉球新報社元社長と宮古島出身の弁護士さん、話が弾みました。皆さんも出張の折、ご旅行の折是非メイクアップを利用され、他地域のロータリアンと交流を深めるのも楽しいものだと思います。ご報告まで。

勝山國太郎 君

先週のクラブからの誕生日祝いに加え、過日の生子ガバナー年度地区大会で思いがけなく多くの賞を頂きましたことに感謝して。

なお、今日来ましたら米寿の祝いもあると伺い併せスマイルします。

川口 尚宜 君

先週のワイン会楽しかったです。神野さん、相原さん、川崎さんに感謝してスマイル致します。コムデポワソンのおいしい料理とおいしいワインで楽しい会となりました。ありがとうございました。

稲森 照男 君

結婚記念日だそうでスマイルします。

伊藤洋一郎 君

結婚記念日のお祝いありがとうございます。何年目になったのかも自覚のない毎日ですが、結婚してよかったです。

有海 隆之 様

スマイルいただきました。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
12/8	53(50)	40	10	-	-	-
12/1	53(49)	43	6	-	-	-
11/24	52(49)	36	13	8	5	89.80%

(会報作成：増田 充)